2019年10月8日（火）毎日新聞(宮崎・鹿児島・熊本総合版)

性的少数者への差別考える講座

宮崎産業経営大

宮崎市の宮崎産業経営大で5日、人権講座「セクシャルマイノリティの人権について考える」があった。法学部の取り組みで3回目。講師に岡山大学大学院保健学研究科長で医師の中塚幹也さん(58)を招き、性的少数者に対する差別がない社会の大切さを考えた。

中塚さんは性同一性障害の診療で国内屈指の実績を持つ岡山大ジェンダークリニックの中心的存在。学生向けに基礎的な知識を披露し「性について悩み続けると、自死や自傷行為などが起きてしまう。偏見を持たず、相談できる環境づくりが大切だ」と語った。

講座には学生や市民約60人が参加。学生らからは「仕事にも性差別があるのはなぜか」「差別をなくすには」と盛んな質問が出た。中塚さんは「行政、企業が率先して啓発に取り組み、生き方や家庭のあり方を社会全体で考えてほしい」と答えていた。【柳瀬成一郎】

「性的少数者の人権を考えよう」と訴えた中塚さん